

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	カーボン・オフセット推進事業	事業開始年度	平成20年度	作成責任者							
担当部局庁	地球環境局	担当課室	地球温暖化対策課 市場メカニズム室	室長 戸田英作							
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)	上位政策	地球温暖化対策の推進								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第3号、 地球温暖化対策の推進に関する法律第3条第2 項	関係する計 画、通知等	京都議定書目標達成計画 低炭素社会づくり行動計画								
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	カーボン・オフセット(日常生活や事業活動に伴う温室効果ガス排出量を、他の場所で行われる排出削減・吸収活動により埋め合わせる)の普及促進を図るとともに、カーボン・オフセットに用いられる排出削減・吸収量を認証するオフセット・クレジット(J-VER)制度の運営・普及により、地球温暖化対策と地域活性化等の同時実現を図る。										
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	カーボン・オフセットに関する相談支援や情報提供等を行うカーボン・オフセットフォーラムを、昨年度に引き続き、運営する。また、日英カーボン・オフセット情報交換協定に基づくワークショップ開催や先駆的な取組を行う国々との情報交換を行う。また、信頼性のあるカーボン・オフセット推進のためにガイドライン等を整備するとともに、カーボン・オフセットについて、地域の特色を活かした取組や国民・事業者への普及効果の高い取組等を創出するためのモデル事業を実施する。国内の排出削減・吸収量をカーボン・オフセットに用いるクレジットとして認証する「オフセット・クレジット(J-VER)制度」について、J-VERの認証や制度改正、登録簿の管理等の制度運営を行うと共に、本制度の活用を促進するため、全国説明会の開催等を通じた広報やJ-VER認証に係る手続きの効率化を行う。										
実施状況	カーボン・オフセットの信頼性及び透明性を確保するため、平成20年2月に策定した「我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について(指針)」を始めとする、各種ガイドラインや基準類を策定した。また、平成22年3月までに、モデル事業として17件を採択し、先進的かつ波及効果の高い取組を創出・普及した。また、カーボン・オフセットフォーラム等を通じて、平成21年度は2500件近い相談支援を行うとともに、セミナーを全国で10回開催した(のべ参加者約500名)。平成22年3月には英国エネルギー・気候変動省とワークショップを開催し、両国の取り組みについて意見交換を行った。カーボン・オフセットに用いる信頼性の高いクレジットを認証する「オフセット・クレジット(J-VER)制度」について、平成22年3月時点で、制度の対象となる排出削減・吸収プロジェクトが9種類登録されている。また、J-VER制度に登録されているプロジェクトの件数は累計28件で、このうち20件のプロジェクトについて、オフセット・クレジット(J-VER)の認証が行われている。累計認証クレジット量は約18,700t-CO ₂ 。また、制度を普及するための説明会を全国で19回開催し、事業者の個別相談会も実施した(のべ参加者約3000名)。										
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求					
	予算額(補正後)	—	60	146	189	300					
	執行額	—	60	146							
	執行率	—	100%	100%							
	総事業費(執行ベース)	—	60	146							
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	本事業を構成する各事業は、すべて競争性を有する契約形態(規格競争方式)を採用している。また、これら各事業については、環境省担当官との間で定期的な打ち合わせが行われており、成果物の作成作業等の事業進捗状況について詳細な報告を受けているほか、先方側への改善指示も行っている。									
	見直しの余地	これまで実施したカーボン・オフセットに係る相談支援やモデル事業等によりカーボン・オフセットの取組が確実に広がりをを見せてきているところである。この結果を踏まえてより効率的且つ波及効果の高い普及手段を検討するとともに、オフセット・クレジット(J-VER)制度の運営の改善等により効率的な事業実施に努める。									
化予 算 監 視 の ・ 効 率	一部改善 (オフセット・クレジット制度の普及及び運営の方法について改善等を行い、効率的な事業実施に努めるべき。)										
補 記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額) (百万円)										
	<table border="1"> <tr> <td>19年度</td> <td>20年度</td> <td>21年度</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>						19年度	20年度	21年度	—	—
19年度	20年度	21年度									
—	—	—									
○予算その他、増▲減額 20年度:10百万円											

環境省
146百万円

カーボン・オフセット推進事業
【内容】
・カーボン・オフセット動向調査及び情報提供・支援
・オフセット・クレジット(J-VER)制度の運営
・カーボン・オフセットモデル事業計画設計調査

企画競争・委託

A 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
70百万円

【業務内容】
・カーボン・オフセットフォーラムの支援
・カーボン・オフセットのガイドライン、
認証基準類の策定、見直し

企画競争・委託

B (社)海外環境協力センター
76百万円(※2契約分)

【業務内容】
・カーボン・オフセット及びJ-VER制度
の普及・促進
・日英ワークショップ開催等

外注費

C. 民間企業等(8機関)
24百万円

【業務内容】
・カーボン・オフセットモ
デル事業実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱			※「複数支出先ブロックC」の「別紙」		
費目	使途	金額 (百万円)	支出先		金額 (百万円)
人件費		33	(株)ビジネスブレイン太田昭和		3
一般管理費		5	郵便事業(株)		3
雑役務費	モデル事業認証手数料	4	全日本空輸(株)		3
外注費	民間企業(8機関)	24	ビリングシステム(株)		3
その他	会議開催経費(旅費、謝金、会場借料等)	1	インフォコム(株)		3
消費税		3	(株)文化放送開発センター		3
			トッパン・フォームズ(株)		3
			(株)沖データ		3
計		70			
B (社)海外環境協力センター					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費		42			
雑役務費	ウェブサイト作成・運営、翻訳・通訳、印刷、カーボン・オフセット用クレジット購入	10			
一般管理費		9			
借料	会場設備レンタル等	4			
諸謝金	講演謝金、執筆謝金	4			
消費税		4			
旅費	職員旅費、委員招聘旅費	3			
計		76	計		0
C. (株)ビジネスブレイン太田昭和					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
労務費		2			
その他	旅費、普及用案内チラシ、POP作成費	1			
計		3	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0